

平成25年第2回下仁田町議会定例会会議録第3号（13日）

招集年月日	平成25年6月6日					
招集の場所	下 仁 田 町 議 会 議 場					
開閉会日時	開 会	平成25年 6月 6日午前10時00分			議 長	千 野 榮 治
及び宣言	閉 会	平成25年 6月14日午前10時58分			議 長	千 野 榮 治
応（不応）招議員 及び出席並びに 欠席議員 出席 12名 欠席 名 欠員 名 凡 例 ○ 出席を示す △ 欠席を示す × 不応招示す	議席番号	氏 名	出席等の別	議席番号	氏 名	出席等の別
	1	永 井 正 之	○	7	佐 藤 勇 二	○
	2	木 暮 弘 元	○	8	千 野 榮 治	○
	3	矢 嶋 榮 一	○	9	島 崎 紘 一	○
	4	原 秀 男	○	10	堀 口 博 志	○
	5	岩 崎 正 春	○	11	岡 田 武 二	○
	6	高 瀬 政 信	○	12	佐 藤 公 夫	○
会議録署名議員	10番	堀 口 博 志	11番	岡 田 武 二		
職務のため議場に出席したものの氏名	事務局 長	齊 藤 昇 久		書 記	並 木 文 子	
地方自治法 第121条に より説明のた め出席した者 の氏名	町 長	金 井 康 行		会 計 課 長	茂 木 政 美	
	副 町 長	—————		ガ ス 水 道 課 長	金 井 義 富	
	教 育 長	吉 井 誠		水 道 課 長	(ガ ス 水 道 課 長 兼 務)	
	総 務 課 長	永 井 正 信		教 育 課 長	竹 内 芳 則	
	企 画 財 政 課 長	神 戸 康 全				
	健 康 課 長	神 宮 喜 美				
	産 業 振 興 課 長	加 庭 紀 夫				
	ジ オ パ ー ク 推 進 室 長	神 戸 哲				

議 事 日 程 別紙のとおり

会 議 に 付 し た 議 件

1 一般質問

会 議 の 経 過

開 会 平成25年6月13日 午後 1時30分

○議長 千野榮治 これから本日の会議を開きます。

○議長 千野榮治 日程第1、一般質問を行います。
通告書に従いまして質問を許します。岩崎正春君
(岩崎正春議員 一般質問席へ)

○5番 岩崎正春 ただいま議長より一般質問のお許しがございましたので、一般質問通告書に基づきまして質問をさせていただきます。

事前に原稿は皆さんの手元に渡っていると思えますけれども、多少中身によって前後することはご了承ください。

まず、2040年問題について。

急加速する人口減に対する見通しと対策をお尋ねしたいと思います。

日本の人口は、2004年の1億2,778万人をピークに減少に転じました。奈良時代では200万人から250万人。平安時代で250万人から400万人。鎌倉時代で500万人。室町・戦国時代で、この期間は270年間ありますけれども、1,500万人と言われていています。江戸時代に入りまして、江戸前期が1,500万人から1,600万人、江戸末期の時点では3,300万人だそうです。正確な人口は、明治政府になって、富岡製糸場がつくられた明治5年で人口3,480万6,000人と記されております。その後、大正末期で5,973万7,000人。人口が1億人を越えたのが昭和42年、1億19万6,000人。20世紀の100年間の間に、日本の人口は8,000万人ふえ、1億2,000万人となりました。

一方、国立社会保障人口問題研究所によりますと、日本の人口は2050年には、およそ3,000万人減少して9,515万人と1億を切り、2100年には、何と4,771万人になるという推計が発表されました。

21世紀の100年では、今までの20世紀と逆転して8,000万人人口は減少すると予想されております。

人口問題研究所がこの3月末に発表した日本の地域別将来推計人口は、2010年を基準として、世界人口は69億人から2,088億人になると推計されている中、日本は人口減に進むことが予想されております。

県や市町村別にも推計が発表されています。それを見ますと、下仁田町の人口は、何と2040年には3,800人台になるという推計が示されました。このことは、ゼロ歳児から中学生までの総数が158人しかいないという時代が予測されているわけです。ここにいる大方の人がいるときに迎える未来の下仁田町の人口動態です。

これらの推計をごらんいただいて、町長はどのような感想をお持ちでしょうか。まず、そのことからお尋ねいたします。

○議長 千野榮治 町長

○町長 金井康行 岩崎議員のご質問にお答えいたします。

今、岩崎議員が申し上げていただいたように、日本の人口問題という形では、減少は避けて通れないところでございますが、特にこの地方の人口が激減していくということに対しましては、ゆゆしき問題だと認識しておる次第でございます。

○議長 千野榮治 岩崎正春君

○5番 岩崎正春 当然これは推計ですから、今のままでいけばということで、これに対して人口減対策を望むところでございます。

下仁田町の特長は、風水害が少ないとか、子育てや教育環境が整備されているとか、ねぎとこんにゃくという地場産業を持っているとかというすぐれた面もあります。これをもっとPRして、定住化対策を進めるべきだと思いますが、政府・与党も、幼児教育の無料化を打ち出しました。もはや少子化対策は、あらゆる方法を取り入れて対策をとることが重要だと思っております。そのために、少ない子供たちや、下仁田町に残って家庭をもうけて、子供を育てている人たちに対しての対策というものも最重要課題だと思っております。

現在、下仁田町でも、中学3年生まで医療費無料化、子宮頸がんワクチンの無料化、そのほか水ぼうそう、おたふく風邪、BCG、日本脳炎、三種混合、はしかや風疹混合については、いろいろ対策をとっているところですが、これらの負担、費用について、現在、どのぐらい下仁田町では予算を計上されて対策をとっているか、お願いいたします。

○議長 千野榮治 健康課長

○健康課長 神宮喜美 岩崎議員さんの質問にお答えいたします。

子育て世代の支援でございますが、まず中学3年生までの医療費無料化並びに各種のワクチン接種ということですが、まず中学3年生までの医療費につきましては、平成21年10月1日より、県の補助2分の1、町2分の1の負担で無料化となっております。

また、各種のワクチン接種の状況ということでございますが、定期接種に関しては、法律に基づいたワクチンの接種でありまして、ジフテリア、百日せき、破傷風、ポリオ、麻疹、風疹、日本脳炎、BCG、ヒブ、小児の肺炎球菌、子宮頸がんワクチンが定期の予防接種で無料となっておりますのでございます。

これらにかかる予算ということでございますが、中学3年生までの医療費につきましては、平成25年度予算では、延べ600人で1,690万4,000円を見込んでおります。定期接種のワクチン接種にかかる予算につきましては、集団接種用ワクチン代、医師、看護師派遣委託料並びに個別接種であります病院委託料などで、総額981万6,000円を見込んでおります。

このほか、任意接種では、乳幼児のおたふく風邪、水ぼうそう、ワクチン接種を無料としまして、平成25年度予算では118万5,000円ほど見込んでおります。

以上ですが。

○議長 千野榮治 岩崎正春君

○5番 岩崎正春 下仁田町の場合は、これらの対策についていち早く対応してきたというふうに思っております。

さらに、このほかに妊婦の健診なども無料化してはどうかというふうに考えておりますけれども、これらについての取り組みについてはどうでしょうか。

○議長 千野榮治 健康課長

○健康課長 神宮喜美 妊婦健診につきましては、現在、14回まで無料ということで行っております。

○議長 千野榮治 岩崎正春君

○5番 岩崎正春 いろいろ対策をとって、学校のほうも整備されたり、教育環境も整ってきているという状況で、全体的に見れば、下仁田町の子育て環境は、随分と整備されてきているかなというふうに思っております。

一方、教育関係でも、今、グラウンドもきれいになりましたし、小学校も統合されてきれいなものができました。これらの教育関係で、子育てとともに教育関係の充実というのは大変重要かと思えますけれども、例えば現在、学校で電子黒板を導入しておりますが、どのような活用で、どのような効果をもたらしているのでしょうか、お願いいたします。

○議長 千野榮治 教育課長

○教育課長 竹内芳則 電子黒板についてお答えさせていただきます。

電子黒板につきましては、平成21年度に当時の小中学校に配備されまして、50インチの画面で、キャスターとパソコンがついた、移動して使用が可能な機械でございます。現在、小学校に3台、中学校に2台が配備されております。

パソコンと接続しまして、その画面に書き込みができたり、保存ができたり、それからまた、プリントアウトできるといったような機械でございますけれども、小学校では、デジタル教材を生かしまして、児童の興味を高めるような授業であるとか、家庭科の先生がお手本を示している手元を拡大して全体に見せるとか、そういった使用をしております。理解向上に役立っているというふうに考えております。

また、中学校では、パワーポイントといったソフトを使いまして、画像、文字の表示による授業であるとか、英語では、音声指導、リスニング等で週16時間ほど使用しております。

○議長 千野榮治 岩崎正春君

○5番 岩崎正春 学校教育においても、電子化の波というのは避けられないことであって、子供たちもそれらに対して適切に対応していくということは、当然教育の一環として必要だと思います。

下仁田町では、当然自然環境も豊かですから、いろいろな畑や自然との触れ合いも十分できるかと思えます。

一方、そういった電子化の波というんですかね、山間地にいても、田舎にいても、都会と遜色のない最新の機器に触れることができるという教育環境整備も、当然必要になってくると思います。

全国の自治体の中では、今、非常に普及し始めた多機能型タブレット端末を生徒に渡しまして、それが電子黒板とうまく共有して授業に活用しているという例も幾つか聞かれるようになりました。これは別に、パソコンとかタブレット端末を渡せばいいということではなくて、今、課長も申したように、教育に対する興味というんですかね、そういうものをやはり子供たちに与え

ていく、子供たちに持ってもらうという面では、大きな効果が上がっているんじゃないかと思います。

佐賀県の武雄市でも、6,700人ほどいる生徒児童に全部渡して、そういったものの活用をして、教育の質が上がったというんですかね、レベルが上がったというような報告もあるようです。そういった取り組みも、下仁田町としては考えておられるのかどうかお願いいたします。

○議長 千野榮治 教育課長

○教育課長 竹内芳則 タブレット端末等を活用した教育の興味を向上させるといった取り組みに関してでございますけれども、確かに新聞の報道によりますと、武雄市では、児童生徒全員にタブレットを配付して、特に算数等の正解率の向上であるとか、そういったことに効果があらわれているといった報道がございます。

しかし、無線LANの施設であるとか、そういった設備を一切合財含めると、1台当たりになりますと10万円程度を要するのではないかとといった新聞報道によるところの経費でございますけれども、多額の費用がかかることに加えまして、それを使いこなせる先生方のスキルといいますか、研修も含めてなんですけれども、そういったことを総合的に考えさせていただいて、費用対効果も含めまして慎重な検討が必要であるというふうに考えております。

○議長 千野榮治 岩崎正春君

○5番 岩崎正春 小中学生合わせても413人の子供たちですので、そうしたものが有効的に使えるのであれば、ぜひ導入を検討していただきたいと思いません。

続きまして、交付税と人口の関係をお尋ねいたします。

何といたっても、町の財政を担っていただくのは、定住人口を確保していく、ふやしていくというんですかね、そういったことが必要だと思いますけれども、今年度見込まれる町税は9億7,010万円、世帯数3,507世帯を単純に計算すると、1世帯当たり25万8,650円。一方、地方交付税は21億3,500万円で、単純に計算すると、1人当たり24万2,613円です。これら地方税で人口割に占める金額はどのくらいになるのでしょうか。人口の増減、例えば100人減れば、交付税はどういうふうに。

○議長 千野榮治 企画財政課長

○企画財政課長 神戸康全 お答えさせていただきます。

普通交付税の算定には、単位費用を主に使っておりますけれども、基準財政収入額ということで、収入額でいきますと、その人数が減ったから幾ら減

るかという計算は、ちょっと出せないものですから、申しわけないんですけども。

○議長 千野榮治 岩崎正春君

○5番 岩崎正春 人口をふやしていくということは、減っていく率も高いわけですから、当然住んでもらう人もあわせて対策をとっていかなくちゃならないと思うんです。

働ける世帯に住んでもらうということは、やはり町税の収入の確保につながるので、やはり定住人口をふやしていくという施策の一環としては、今まで土地開発公社が住宅団地をつくって分譲するとかという対策をとってきましてけれども、これからはそういった土地開発公社にだけ頼るのではなくて、町の施策として住宅地を無料とか、あるいは非常に安い安価な値段で提供して、ある程度長い年数住んでいただいたら、その土地はその住んでいただいた方に提供するくらいの大胆な発想で定住化対策を考えていくべきだと考えておりますけれども、これら定住化のためのIターン、Uターン者の対策というのは、下仁田町では今具体的にどのようなものがありますか。

○議長 千野榮治 町長

○町長 金井康行 ただいまの岩崎議員の現在の下仁田町の状況ということでございますが、当町におきましては、昭和55年に過疎地域に指定されまして、過去30年間にわたって過疎地域自立促進計画の町総合計画という中で進めさせていただいておる次第でございますが、地域の特性を生かした自然豊かなまちづくりの実現のためにということで、いろいろ施策をとってきております。そういう中で生活環境の整備等、積極的に進めてきたところでございます。

具体的には、今お話にありましたように、町営住宅の整備とか、教育施設の整備、そしてソフト面では、空き家対策、定住促進奨励金等々含めて、平成20年から事業を開始しまして、過去、実績では、定住促進奨励金で57件、1,425万円。下仁田町ぐんまの木で家づくり、こういった施策におきましても、支援事業で県と同額の補助を出すという、その定住促進対策の問題や、結婚祝い金や出産祝い金、または交流の場事業というのを設けて、家庭や子供に対して対策を人口減に対する施策として今現在進めておるところでございます。

しかし、全国的にこの問題につきましては、山村自治体には大変厳しい状況が続いて、過疎の解消には歯どめがかからないということでございますが、今後におきましても、それらを加味しまして、議員各位のいろいろな助言を

いただきまして進めていきたいというふうに考えておる次第でございます。

○議長 千野榮治 岩崎正春君

○5番 岩崎正春 下仁田町に限らず、この過疎の自治体というのは、全国に多数あるんだと思います。しかし、我が町は、既にそういった課題の先進地になっているわけですから、まねをする地域はもうない。下仁田町独自に考えていく、対策をとっていくという必要があると思います。

下仁田町でそういったことが成功例になれば、これは日本の過疎化対策、少子化対策の先進例になるわけですから、今、町長が答弁いただいたように、今まで下仁田町はさまざまな対策もとってまいりましたけれども、過疎化の波が一向に、推計、予測どおりになっているというんですかね、その人口が減る予測どおりになっているということが大変危惧しているわけです。

下仁田町は、そもそも地盤的にも風水害は少ないというふうに先ほど申し上げましたけれども、最近では富岡製糸場と絹産業遺産群の関連で、世界遺産登録が間近に迫っております。また、ジオパークでも日本認定をいただいて、世界認定へ向けてさまざまな方が今努力されております。こういったこととあわせて、従来のねぎとこんにゃく、このブランド力を活用してまちづくりをやる。

また、町長も就任当初、みずからの尽力によりまして、練馬区との防災協定やねぎサミットを成功させました。また、近くには、甘楽町の楽山園や、多野の神流町の恐竜センター、南牧の砥石や鍾乳洞などの西上州には多くの観光スポットと潜在的資源が豊富に眠っている状況であります。これらを実現するための、やはり下仁田町は、今までまちづくりのさまざまなプランをつくってききましたけれども、交付税をもらったり受けたりする関係でつくってきたという一面もありますけれども、やはり状況がここ数年で激変しておりますので、具体的なこれらを見据えて、まちづくりの基本構想を現実にしたものをつくる必要があるかと思っておりますけれども、それらをつくる予定というんですか、構想はございますでしょうか。

○議長 千野榮治 町長

○町長 金井康行 今、新たな方針として町の考え方はないかということでございますが、今おっしゃられましたように、日本ジオパーク認定をいただき2年がたつところでございます。また、ことしの夏には、世界遺産の調査団でありますイコモスが現地の調査に来るということも踏まえまして、いろいろ今後の問題について対策等とっておるところでございますし、それらの観光地的要因の中に、来町いたしました皆様におもてなしの心で、また大勢の誘客

を図っていただくよう尽くして、町としても大歓迎できるように、そんな方針を高めているわけでございます。

しかし、これからの将来的な展望といたしまして、多くの町に訪れる人はいるといたしましても、やはり一過性で済んでしまうかな、そういう思いと同時に、交流人口の定住は、やはりつなげていきたいと、連結させていく。それには、今、議員ご指摘のように、下仁田町にある意味滞在していただける、そんな問題を大きな柱として構えていく必要があるであろうというふうな思いでございます。

それらにつきましても、県のいろいろな窓口とともどもお願いをしたり、実情を話したり、また受け入れ体制等々協議をさせていただいている次第でございまして、また幅広くそんな取り組みができるように今心して取り組んでおるところでございます。具体的な面は、もう少し時間がかかるわけですが、そういう方向で進めているということでご理解を賜ればありがたいと思います。

○議長 千野榮治 岩崎正春君

○5番 岩崎正春 ジオパークの取り組みも始まりまして、もう5年が経過しようとしております。ジオパーク推進室は産業振興課、またふるさとセンターは教育課と、また定住対策の関係は土地開発公社、産業振興課と、それぞれ努力されているのは、私も十分承知しておりますけれども、今、町長述べられたようなことをまとめて、まちづくりの基本と据えるためには、どこの部署がそれを担当されるのでしょうか。その辺を教えていただきたいと思います。

○議長 千野榮治 町長

○町長 金井康行 今、一連の関連するそれぞれの思いの中には、今挙げられた課で、横の連絡会議と申しまして、それぞれの課題を提供し、そして進めておるところでございますが、全体的には企画財政課でそれをまとめをしているというところでございます。

○議長 千野榮治 岩崎正春君

○5番 岩崎正春 じゃ、その企画財政課でいつごろまでにそれをまとめられる心づもりというのか、腹づもりというのか、覚悟があるなら聞かせてください。

○議長 千野榮治 企画財政課長

○企画財政課長 神戸康全 多岐にわたるものですから、すぐすぐということができませんので、おいおい考えていきたいと思っております。よろしく願います。

○議長 千野榮治 岩崎正春君

○5番 岩崎正春 多岐にわたってまちづくりできる可能性があるわけですね。

ですから、早くまとめて、町民に示して、下仁田町はこういう構想で向かっていくんだというものを共有できないと、今、町長が述べたことは、単なる議員に対するリップサービスで終わっちゃう可能性があるわけです。

それで、世界遺産とジオパークの関係で、きょう傍聴に来られている方の中にも、既に各種団体、ボランティア等で参加して、町の何がしかの役に立てればと、忙しい時間を割いて活躍されている方もおられるわけです。

しかし、今、町長が述べたような内容であったのでは、じゃ、その人がどんな役割を果たして、どんなふうの下仁田町に貢献できているかなということがなかなか理解しにくいというふうに私は思います。

私も現にジオパークの関係では、いろいろな後援会とかジオ・歴史遺産応援団ですか、そういった会議にも出ていて、かなり多くの方が、町民、あるいは町外からの方も来て、ボランティアガイドしましょうと、何がしかの役に立てればうれしいですと言って来てくれる方が大勢いるわけですけれども、もちろん職員の中でも、こうやって頑張っている方もいるんですけれども、やはりまちづくりのポジションをどこに置いて世界遺産、ジオパークをやっていくんだと。10年も20年も先とも言いませんけれども、5年計画ぐらいはちゃんと立てて、世界認定はこの時期に受けて、世界遺産の登録を受けたときはこういうふうなまちづくりで、飲食店の組合員さんお願いしますよとか、商店街の皆さん、こういうジオ商品を開発してくださいよと、そういうものをお示ししないと、なかなかこれはらちが明かないというふうに考えております。その辺はどうでしょうか。

○議長 千野榮治 町長

○町長 金井康行 議員おっしゃるように、大勢の町民にジオパークの話にいたしましても、いろいろと幅広く参加をしていただいてきて現在おるとというのが改めて感謝を申し上げるところでございます。

それに引き続きまして、世界遺産候補の荒船風穴関連も、地元のご理解とご協力を賜りまして、道路整備に付随するところの土地の提供やご理解を賜って、随時、今、進行中でございます。そういったことを反映するように、多くの方に関心を持っていただき、ご協力を賜っておるということに対しましては、今、議員ご指摘のとおりでございます。

その先を町としてはどういうふうに指導していくのかと。また、ご協力をいただくような話をしていくのかということにつきましては、今、企画財政課長が申しましたように鋭意努力しまして、それぞれの分野のところのご理解とご協力を細分化させまして、またより進めるのには、よい方法をまたい

ろいろご協力いただくということになるかと思いますが、その段階でござい
ますので、これが期限が決まっている世界遺産登録でもございますし、ま
た再度、日本ジオパークの再認定の期間も迫っておりますので、それらにつ
きましても、議員各位のまたそれぞれのご意見を賜って、ご提案する事業、
あるいは内容につきまして、ご指導とご協力を賜りたいとするところでござ
いしますので、あらかじめひとつよろしくお願ひしたいと思ひます。

○議長 千野榮治 岩崎正春君

○5番 岩崎正春 いくらでもご協力申し上げたいと思ひますので、早く企画財政
課でまとめていただくということは、今表明されましたので、こういうチャ
ンスは、そう何度、何度も訪れるものではありませんし、時期が過ぎれば、
もうこれは二番煎じ、三番煎じで効果が薄いわけですから、企画財政課の皆
さん、十分優秀な方がそろっておりますので、時期をいつにするかは、また
別の機会に尋ねるとして、ぜひとも強力に推進、町長の指導力をもって推進
していただきたいと思ひます。

次の質問もありますので、次に移らせていただきます。

次に、山岳遭難やジオパーク見学者への遭難への事故の対応はどのよう
であるかということです。

ジオパークや世界遺産の荒船風穴と周知が進めば、今後は今までのような
登山やハイキングだけでなく、より安易な感覚で、下仁田町の山や危険を伴
う場所へ行く可能性も考えられるが、これらに対する対応はどのように考え
ておられるのか、お願ひしたいと思ひます。

○議長 千野榮治 総務課長

○総務課長 永井正信 お答えをさせていただきます。

来町者、確かに議員がおっしゃられるとおり、来町者がふえると思ひます。
それに伴ひまして事故、また遭難者もふえてくるかと思ひております。遭難
事故は、基本的には自己責任でございしますが、ジオパーク推進室でも、ツア
ー客、申し込み者に危ないところへの注意を行ったり、入山者は警察に入山
届けをするよう啓発のほうを現在行っております。

以上です。

○議長 千野榮治 岩崎正春君

○5番 岩崎正春 今までとはまた違った形で、下仁田町においでいただく方がふ
えることが予想されます。もちろんそういう方がふえていただくことは、大
変喜ばしいことですし、町にとってもよいことだと思ひますけれども、同時
に、訪問した方々が気持ちよく帰っていただけるための安全対策とか、起き

てはならないような事故が起きたときの対応というのをしっかりしておく必要があると思います。

いろいろな山の遭難事故等も、下仁田町は結構登山客も多くあるんですけども、その場合は、いろいろ山岳会とか消防団とか、さまざまな応援体制が今しかれていると思いますけれども、それに対する救助も、どこまで救助して、幾日するのか、あるいはそれに従事する安全や公務災害について、どのような補償を決めているのか。下仁田町の消防団条例によると、その公務災害の項目は特にうたっていないんですよね。この条文の中には、災害に対しては身を挺してこれに当たらなければならないと書いてあるんですけども、その結果、事故が起きた場合どうするのか。招集を受けない場合であっても、水火災その他の災害を知ったときは、あらかじめ指定するところに行き、従事しなければならないとあるんですけども、それらの方々にとってどのような対応をとられているんでしょうか。

○議長 千野榮治 総務課長

○総務課長 永井正信 お答えをさせていただきます。

行方不明者の捜索には、山岳遭難、また水難事故、家出、徘徊に伴う山中の迷い等ございます。現状の下仁田町の対応でございますが、昨年、近隣市町村の捜索体制、また費用負担、活動日数などの調査を行いまして、消防団の災害ではない行方不明者の捜索に関する取り決めを作成いたしまして、それに基づいて捜索活動を行っております。

妙義山での山岳遭難の場合には、警察署から中之嶽山岳会に直接要請がございます。また、消防団が捜索活動する場合は、家族から警察署に捜索願が出され、まず警察署が編成を組んで捜索活動を行い、警察だけでは発見できないと判断された場合に、富岡警察署長より、町に消防団の捜索要請がございます。町では、要請があつて、町長が捜索の必要があると認めた場合には、消防団長に捜索活動の要請を行い、団長命令で捜索活動を行います。公務災害補償の関係上、災害によらない行方不明者の捜索は、消防団本来の任務ではありませんので、家族から直接町への要請は一切受け付けておりません。警察を通じて、町長の要請により、団長命令で活動した場合のみ、公務災害の取り扱いになることとなります。

それから、捜索依頼者の負担についてでございますが、山岳会の捜索に対する費用としましては、日当、救出用具損傷の実費、携帯電話使用料、飲食の実費等を捜索依頼者に請求をして、町ではそれに対する保険をかけておりますので、保険料のみの請求を行っております。

消防団の搜索活動に要する費用は、団員の出場手当については町負担として、飲食費、必要な物品等あれば、実費費用は原則、搜索救助をお願いした者に負担をしていただいております。

それから、安全や補償ということでございますが、団員は健康状態、それから仕事の勘案等をしまして、搜索活動は連続2日以内としております。補償面では、公務災害補償対象としております。

以上でございます。

○議長 千野榮治 岩崎正春君

○5番 岩崎正春 もちろん行政の場合は、法と条例によって、法的根拠をもってさまざまに活動を行ったり活動要請するので、下仁田町の消防団条例も、こういった公務災害のことについても、やはりきちっと条文で設けるべきだというふうに私は思います。

警察、山岳会、町、それぞれそういった遭難対策協議会みたいなものを設けて、今後はやられるのがいいのかなというふうに私は思っております。

何といたっても、事故が起きないようにする対策、事故防止は大変重要だと思います。案内板、柵を設置したほうがいい場合、しないほうがいい場合、いろいろあると思いますけれども、案内板にやはりQRコードを設置していくのいいと思っております。案内看板というのは、多ければ読まないし、少なければ情報不足ということで、今ほとんどの携帯電話では、バーコードリーダーがついておりますので、そういったものをやはりきちっと案内情報を伝えていく看板づくりにも、そういうものを活用していく、入山申し込みにも、そういうことはもう群馬県警は取り入れていますから、そういった方法も一つの案ではないかと思っておりますけれども、その辺の検討はどうでしょうか。

○議長 千野榮治 ジオパーク推進室長

○ジオパーク推進室長 神戸哲 お答えさせていただきます。

今年度、わかりやすい看板をということで、ジオサイトに設置してあります説明看板の板面の変更等、ジオサイトの看板の設置を予定しております。その作成に当たりまして、経費をほとんど必要とせずに作成できるQRコードも活用したいと考えております。

以上でございます。

○議長 千野榮治 岩崎正春君、通告時間になりますので、どうする、最後の質問にしてください。

○5番 岩崎正春 はい。

○議長 千野榮治 岩崎正春君

○5番 岩崎正春 ジオパーク世界認定登録ということで、下仁田町は本当にいいチャンスを得ていると思いますので、町長、ぜひ担当関係部局にもっとスピードを高められるように、ぜひとも指示をお願いしたいと思います。

以上です。ありがとうございました。

○議長 千野榮治 それでは、ここで暫時休憩をいたしまして、再開を午後2時30分から行いたいと思いますので、お願いいたします。

休 憩 午後 2時17分

再 開 午後 2時30分

○議長 千野榮治 休憩を解いて再開いたします。

一般質問を行います。

通告書に従いまして質問を許します。木暮弘元君

(木暮弘元議員 一般質問席へ)

○2番 木暮弘元 2番議員、木暮弘元です。議長さんの許しが出ましたので、質問いたします。端的に質問いたしますので、明快にご回答をお願いいたします。

まず、専決処分について。

現状の方法が正しかったのかの質問です。

交付税は、下仁田町の会計に入って、一部事務組合に繰り出されるものと理解していましたが、説明も承知もなく、今年度末に専決処分された。他の市町村は、2月、3月中の定例会議で補正予算を編成したが、当町は3億4,000万円という高額の予算を年度末に専決処分された。どのように考えているのかを伺いたい。

○議長 千野榮治 企画財政課長

○企画財政課長 神戸康全 お答えさせていただきます。

他市町村が3月に補正を組んだのは、国の緊急経済対策であります地域の臨時交付金だと解釈しております。

議員ご承知のとおり、専決処分には、地方自治法第179条に基づく緊急の場合の専決処分と、第180条に基づく議会の委任による専決処分の2種類がございます。下仁田町での専決処分は、主に179条によるところでございます。

議員皆様のご理解と、地方自治法にのっとり専決処分を行っておりますので、正しいと理解しております。

以上です。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○2番 木暮弘元 今、企画財政課長さんが申されましたけれども、全くこれは緊急だったのか、ちょっと私も疑問に思っております。

次に、環境省の復興財源から特別交付金3億4,000万円は、いつ入金されたのか。

○議長 千野榮治 企画財政課長

○企画財政課長 神戸康全 お答えいたします。

環境省からの2億4,600万円でございます。特別交付税の決定通知が3月28日に受け付けしてございます。それですので、専決処分という方法でとらせていただきました。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○2番 木暮弘元 3億4,000万円の特別交付金は、何に使用したのかということでもよろしくお願ひいたします。

○議長 千野榮治 企画財政課長

○企画財政課長 神戸康全 専決処分で3億4,600万円ばかりの特別交付税、交付税の補正をさせていただきましたけれども、2億4,608万6,000円、これは下仁田町と南牧村が構成市町村であります甘楽西部環境衛生施設組合の分でございます。本来であれば、下仁田と南牧で案分をして両町村に来るわけでございますけれども、下仁田町に一括交付を受けまして、そっくり2億4,608万6,000円を環境衛生のほうへ出してございます。

以上です。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○2番 木暮弘元 そうすると、清掃センターの改修費ですか。

○議長 千野榮治 企画財政課長

○企画財政課長 神戸康全 内容については、私どものほうでは承知してございません。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○2番 木暮弘元 そうですか。それでは、クリーンセンターの改修は、そのものには使われておりませんか。

○議長 千野榮治 企画財政課長

○企画財政課長 神戸康全 甘楽西部環境衛生施設組合、一部事務組合でございますが、そちらのほうで使用してございますので、私が答えるべきことではないと思いますので、よろしくお願ひいたします。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○2番 木暮弘元 それでは、この清掃センターのパフレット、平成22年度から計画と掲載されておりましたけれども、22年度の決算に実施の実績がない。また、予算化は23年度からですね、清掃センターの改善計画は、いつごろから始めたことですか。

○議長 千野榮治 町長

○町長 金井康行 木暮議員のご発言の内容でございますけれども、この内容につきましては、甘楽西部環境衛生施設組合で下仁田、南牧の議員さんで構成しております議会がございまして、そちらのほうで逐一議会をして決定しております事項でございます。そういった内容に基づきまして、当下仁田の議会では答弁できませんので、あらかじめよろしくお願いたします。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○2番 木暮弘元 次の質問にいきます。

国の復興財源から特別交付金が入金された経緯を伺いたい。

○議長 千野榮治 木暮弘元君、質問の意味がわからないので、もう少しゆっくりと的確に質問してください。木暮弘元君

○2番 木暮弘元 国の復興財源からの特別交付金が入金された経緯を伺いたい。

○議長 千野榮治 企画財政課長

○企画財政課長 神戸康全 資料を甘楽西部環境衛生施設組合から財政系のほうで提出していただきまして、甘楽西部環境衛生施設組合のかわりに南牧分も含めて下仁田町で一括交付を受けるべく申請をさせていただきます。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○2番 木暮弘元 わかりました。

次に、瓦れき等の受け入れについて検討された経緯はあると思いますが、検討時期と検討結果と検討期間を伺いたいと思います。

○議長 千野榮治 木暮弘元君、それは先ほどから執行のほうで答えているんですけども、甘楽西部環境衛生施設組合の問題なので、そちらの議会で一応決定したのだから、ここでは執行からは答えられないかもしれないので、質問変えてください。答弁できる質問をしてください。木暮弘元君

○2番 木暮弘元 それでは、わかりました。次にいきます。

3億4,000万円の特別交付金の申請はいつしたのかを伺いたい。

○議長 千野榮治 企画財政課長

○企画財政課長 神戸康全 特別交付税は12月交付と3月交付がございます。12月交付については9月、それから3月交付については12月に基礎数値を報告させていただきます。ほかのものについては、随時報告させていただきます。申請

をあげているというんですかね、県のほうへあげている、そういう状況でございます。

以上です。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○2番 木暮弘元 伺いました。

次に、当初計画に基づく総務省への交付申請はいつしたのかと、あわせて交付決定日を伺いたい。

○議長 千野榮治 企画財政課長

○企画財政課長 神戸康全 特別交付税の決定通知が3月28日でございます。

以上です。

○2番 木暮弘元 次にいきます。

○議長 千野榮治 まだ言っていないけれども、木暮君、手を挙げてください。木暮弘元君

○2番 木暮弘元 こういうことに対して議会の開催はいつ行われましたのですか。

○議長 千野榮治 質問がちょっとわからないんだけれども、もう一度、きちっと質問してくれる。木暮弘元君

○2番 木暮弘元 環境議会の開催はいつ行われたのですか。

○議長 千野榮治 町長

○町長 金井康行 先ほどから申し上げますように、環境議会の案件につきまして、手元に何もございませんし、以前にも議会で、下仁田町の議員であり、病院や環境の質問をして答弁はできないということでおしかりを得たことがございます。環境の問題につきましては、別の議会ということでとらえておりますので、用意がございません。

○2番 木暮弘元 それでは、次にいきます。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○2番 木暮弘元 次に、6月2日の読売新聞の全国版、東京電力福島第一原発で生じた指定廃棄物の処理をめぐっての最終処分場建設を予定している5県、194市町村を対象にした調査のコメントについて伺います。

県内処理に賛成する。理由は、千葉と下仁田のコメントが載っている。

「排出された県の中で処理するしかない。他県のは反発が強いと思われる。」（群馬県下仁田町）と報道された。どなたのコメントですか、このコメントは。

○議長 千野榮治 健康課長

○健康課長 神宮喜美 新聞報道ということであるかと思えますけれども、下仁田

町、新聞報道では、「排出された県の中で処理するしかない。他県のは反発が強いと思われる。」ということで新聞に書いてあるようでございますが、これについては読売新聞からのアンケート調査で答えたものでございまして、指定廃棄物におきましては、それぞれ県ごとに国が集約するというところでできております。その後の内容については、報告、また会議がございませんので、今後の状況についてはわかりません。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○2番 木暮弘元 そうすると、責任者は町長だと思いますけれども、町長、課長が答えたわけですか、そのアンケートには。

○議長 千野榮治 健康課長

○健康課長 神宮喜美 課長と申しましたけれども、手続を踏みまして町長の決裁を得た上で回答しております。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○2番 木暮弘元 どちらにしても、重大な責任があると思いますので、毅然とした対応をしていただければなと思っております。

続いて、6月4日、読売新聞の群馬版のコメントについて伺いたい。

群馬県市町村のうち、県内処理に消極的だが賛成19市町村、反対7市町村。この中には下仁田町の明記がない。賛否を明らかにしないが9市、市のみですね。つまり、下仁田町は、県内処理に賛成の19の中に含まれているのですか。

新聞紙面では、先ほどの県内処理に賛成の19市のうち、候補地になったら拒否13市町村、残り6、検討するが、受け入れは不透明3町、千代田町、神流町、中之条で残りは3。この残りの中に下仁田町があるのかと考えて、下仁田町の立ち位置がはっきりしていないので心配になり、読売新聞に聞いたら、出ていませんが、記事の内容がすべてですと間違っていないことを確認しました。それでは、町に聞くしかない、下仁田町がこの残りの3自治体の中に入っていると解釈すべきなのか、それでよろしいのかお伺いしたい。

○議長 千野榮治 健康課長

○健康課長 神宮喜美 まず、指定廃棄物の問題、これにつきましては、平成23年3月に発生しました原発事故によって放出された放射性物質の拡散による環境の汚染への対処に関して、国が法律を公布したわけでございます。法律に基づきまして、放射能濃度キログラム当たり8,000ベクレルを超えた指定廃棄物については、環境大臣が指定して、国が責任を持って処理することとなっているということでございます。

県内で発生した指定廃棄物は、県内で処理するという事になっておりますので、他県へは持っていけないという法律でございます。これは国が集約して、処分場を国が確保するというものでございまして、そういった中でアンケートが参ったわけでございます。

町としては、国でこの法律に基づいて決めたものであり、またやはり他県のものを持ってくるという、また逆に持っていくというのは、非常に反対が多いんじゃないかということで、県内のものは県内で処理したほうがいいというような回答をしております。

ただ、その中で、下仁田町は指定廃棄物は持っておりませんが、仮に下仁田町に候補地で国が指定してきた場合、これについては住民の理解が得られないだろうということで、受け入れはできないというようなアンケートでお答えしております。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○2番 木暮弘元 わかりました。次にいきます。

候補地になったら、自治体に対する国の施策を尋ねたところとして、5項目ほどの要望が記載されていましたが、下仁田町はこのようなコメントをされたのか伺っておきたいと思っております。この5項目。

○議長 千野榮治 健康課長

○健康課長 神宮喜美 5項目と言っているのは、ちょっと内容がわかりませんが、それ以外については答えておりませんので、わかりません。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○2番 木暮弘元 それでは、アンケート調査の調査結果、またお答えした調査の回答、コピーを後でいただけますか。

○議長 千野榮治 これは質問と違うから、後で提出してもらうように課長のほうに言ってください。質問と違うから。一般質問とはかけ離れているから。

次の質問をしてください。木暮弘元君

○2番 木暮弘元 次にいきます。

震災の復興をどう考えているか。大局的な考えをお伺いしたい。

○議長 千野榮治 町長

○町長 金井康行 この震災の関係につきましては、国をはじめ関係者、また関係機関、その努力もさることながら、被災地ではいろいろな方のまだ不便を強いられておるといふこととともに、なかなか復興には、本当に時間がかかるんだなという思いで、今でも思って、県内に移住してきた、避難してきた人たちの話を聞きましても、大変なものであるというふうな事と、これから

の生活そのものを今までにもう2年経過しましても、大変なことであると、同情の意を感じておるし、できる限りのことは、自治体としても、人間として、また個人としても手を差し伸べる機会があれば、いろいろな意味で心を痛めているという思いであります。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○2番 木暮弘元 次に行きます。

国を挙げて、国民を挙げて、復興予算づくりの中で、今回、復興財源の特別交付税を復興とかけ離れた事業に使用した、このことについてはどう考えておりますか、お聞かせ願いたい。

○議長 千野榮治 今、質問がよくわかんないんですが、復興財源を復興でないものに使ったというような今質問にとれたんですが、そういう質問でいいんですか。もう一度、具体的にどこで何をしたかというのを言ってもらわないと、答弁は困ります。どういうことだかわかんないんで。木暮弘元君

○2番 木暮弘元 国を挙げて、国民を挙げて、復興財源づくりの中で、今回、復興財源を特別交付税とかけ離れた事業に使用したと、このことについてはどのようにお考えかお聞かせください。

○議長 千野榮治 木暮弘元君、どこにどういうふうに使ったか、それを的確にしゃべってもらわないと、答弁できないと思うけど。木暮弘元君

○2番 木暮弘元 それでは、瓦れき処理を受け入れない現状において、環境省の復興財源から特別交付税、性格からして、全額返すべきと私は考えますが、お考えを伺いたい。

○議長 千野榮治 先ほどに、また戻ったようだけれども、甘楽西部環境衛生施設組合の問題なので、ここでは答弁できないと先ほどから言ってますが、そういう質問のことですか。一部事務組合で、下仁田、南牧の議会というか、そこである程度決めているので、これについては、ここでちょっと答弁できないんだけれども、それを今、答弁しろということですか。その辺がちょっと執行のほうも困っていますが。木暮弘元君

○2番 木暮弘元 私は、町には財源が入ってきて、そして一部事務組合に移されるということでございますので、一般質問をやって答えてもらえるんじゃないかなと思ってこの質問をさせていただきました。

○議長 千野榮治 それでは、一部事務組合のほうにそれなりに聞いてもらいたいたんだけれども、ここの席では質疑応答はできないので、甘楽西部環境衛生施設組合のほうにそれなりに打診をしてもらいたんだけれども、それでひとつそういうふうに図っていただければと思いますけれども。ここではちょっと

押し問答になるだけで、答えられないので、違う質問にしてください。木暮弘元君

○2番 木暮弘元 瓦れきを受け入れると言って、環境施設組合にお金は町を經由していったというようなお話を聞かれたので、国の会計検査院の検査が入るといような危惧も私なりに考えたので、一応はそういう心配をしながらお聞かせ願いたいと思ひまして、質問をさせていただきました。そういうことでございます。

○議長 千野榮治 それについては、一部事務組合のほうに会計監査が入ったか入らないか、おれの承知では、そういうのは入ったようだという事だけれども、それは一部事務組合のほうに、そうじゃないと、ここで答えられないので、時間ばかりたつので、違う質問、次の質問をしてください。

(「根本的に説明してやっているとわからないから、議長、丁寧に、一部事務組合と町の議会は違うんだということをちゃんと説明しないとわからないんだよ」の声あり)

○議長 千野榮治 今、あそこで不足を言ってくれたので、一部事務組合とこの議会とは、一部事務組合という一つの議会がございますので、それについては、ここでは答えられないということで、これは前にもお話をさせていただいたので、それでひとつご了解願いたいと思ひます。

企画財政課長が説明するそうなので、企画財政課長

○企画財政課長 神戸康全 お答えさせていただきます。

普通交付税、特別交付税については、一部事務組合から請求ができませんので、構成市町村であります、今回の場合は甘楽西部環境衛生施設組合の構成市町村、下仁田と南牧村でございます。下仁田町で請求を一括交付を受けるといふことで、南牧分も含めて下仁田町で特別交付税として受けるために申請をいたしました。

以上です。

○2番 木暮弘元 ありがとうございます。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○2番 木暮弘元 それでは、続けていきます。

一部事務組合のことは、一切お答えできないということで、決まりらしいみたいですので、やはり私なりには、通過時、きちんと予算を一部事務組合に移行するまでは、一般議員として質問をきちんとできるというふうに解釈しておりましたので、皆さんがそういうふうな答弁でございますならば、そういう部分について一般質問で受けて説明はしていただけないということに

なりますと、私なりにどういうふうやっていいかわかりません。

それでは、次にいきます。

職員の給与カットと交付税の関係についてということで、職員の給与カットについて、削減率とパーセンテージを示してくださいというようなことで、6月議会の打ち合わせたときには、通告書をお願いしておりましたけれども、本日午前中、職員の給与カットと特別職の給与カットは審議されました。復興に役立てたいということで、職員に対しては特段の努力、協力をしていただきまして、まことに感謝する次第でございます。

そういうことで、次にいきたいと思えます。

放射能の対策について。

除染対策の取り組みについて伺います。

下仁田町での放射線を定期的に測定している場所はどこか。

○議長 千野榮治 健康課長

○健康課長 神宮喜美 お答えします。

震災直後においては、毎日、線量の測定を実施しておりました。平成25年1月から週1回、4月から月1回の測定をしておりますが、場所につきましては、役場前、西牧の活性化センター、馬山のグラウンドゴルフ場の3カ所において測定しております。

なお、公表については、ホームページで公表しておりますので、見ていただければと思います。

それと、群馬県が役場の第二駐車場に1台設置して、それらについては新聞等で公表しているかと思えます。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○2番 木暮弘元 今、3点ばかり、課長でございますけれども、そのほかに河川や観光地、観光施設等を行われていないでしょうか。

○議長 千野榮治 答えられます。町長

○町長 金井康行 ただいまの質問につきましては、きょうの新聞に出ておりますように、それぞれの食材には食材、農地には農地の、それぞれやっております。常時行っているということとは、少しかけ離れますけれども、それぞれの検査をしているということにつきましては、各課で対応しているところは、それなりに答えさせることはできますけれども。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○2番 木暮弘元 わかりました。

それでは、次にいきます。

仮置き施設の安全性について伺います。

どうしてこの場所を選定したのか、選定の経緯を伺いたい。場所をご存じだと思います。私も全協で説明を聞きましたけれども、もう一度しっかりとここで答えをお願いいたしたいと思います。

○議長 千野榮治 健康課長

○健康課長 神宮喜美 仮置き場の選定ということでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○健康課長 神宮喜美 昨年の11月のたしか全員協議会——19日で、場所につきましてお答えさせていただきましたが、場所については、千沢の上流、大体2.6キロメートルですね。大山国有林、26のるの2というところがございますけれども、国から今回の放射能の関係につきましては、国有林の活用について特に指導があったということで、仮置き場立地に関する基準というのは定められておりませんが、町では、選定に際しまして、環境省の除染チーム、あるいは関東森林局の国有林管理課、日本原子力研究開発機構、福島にありますけれども、技術本部などと協議しまして、また現地も確認していただきました。この中には、日本原子力研究開発機構の中には、地質の専門家の方も見えまして、現地を見たということで、その中では特に現地が不適切なところではないということで伺いましたので、吉崎区と説明会を持ちまして選定させていただいたということでございます。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○2番 木暮弘元 次に、その土地の地質調査について、ボーリング等を行って安全を確認しましたか。

○議長 千野榮治 健康課長

○健康課長 神宮喜美 ボーリングしたかということでございますけれども、まず場所が選定できて同意ができないと、ボーリングは当然事前にはできないと、認められておりませんでした。専門家の意見を聞き、特に事業を進めてきたということでございます。

まず、仮置き場を設置するに当たっては、地下水の放射性物質の監視のために、1カ所の地質調査、ボーリングは、決まってからですけれども、認められまして、当該地につきましては、土砂10.2メートル、その下に非常に固い岩盤があるということで、特に安全性につきましては問題ないということで確認できました。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○2番 木暮弘元 ボーリングをきちんとやって、安心・安全の確保をちゃんとし

ていただくということでお願いをしておきましたけれども、きちんとやっていただきまして、よかったなと思っております。

次に、町の施設の仮置き場の容量をもう一度確認したいと思います。

○議長 千野榮治 健康課長

○健康課長 神宮喜美 お答えさせていただきます。

施設の容量ということでございますが、仮置き場につきましては、縦20メートル、横20メートル、深さ1メートルで、400立方メートルを予定しております。全体の面積では2,300平方メートルということでございます。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○2番 木暮弘元 それでは、次にいきます。

町内の汚染廃棄物の処分の予測量はいかほどあるか。

○議長 千野榮治 健康課長

○健康課長 神宮喜美 予測量ということでございますが、まだ除染作業、今、民地が始まったばかりかと思えます。これから道路ですとか山林やるわけですが、今のところ仮置き場の面積が約400立方メートルということでございまして、大体400トンぐらいは見込んでいるということで、それぐらいをまた集積できるというんですかね、そういうことで進めております。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○2番 木暮弘元 次に、吉崎の説明会では、当初60トンという説明ということを知ったということは、これはどういうことなのか。さっき400トンで、今度、吉崎では60トンという。

○議長 千野榮治 健康課長

○健康課長 神宮喜美 お答えします。

吉崎の説明会は、9月から10月にかけて行ったわけでございます。その時点では、全く調査も入っておりませんし、60トンぐらいだろうという憶測で説明会を持ったかと思えますけれども、今後については、調査した結果、400トンぐらいは出るのではないかというような予測をしております。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○2番 木暮弘元 地区の方たちも、一般の町民も、こういうことには神経を使いますので、ぜひ予測というような感じではないようお願いしたいと思えます。

次に、既に入札を済ませて工事の準備中、地域住民の方に説明会の必要はないか。

○議長 千野榮治 健康課長

○健康課長 神宮喜美 もう少しわかりやすく言っていただけますかね。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○2番 木暮弘元 入札をもう済ませ、工事の準備に入ったと。地域住民にはきちんとした説明をする必要性はないのでしょうか。

○議長 千野榮治 健康課長

○健康課長 神宮喜美 既に全体で説明会を持たさせていただきましたし、また調査の段階でも、同意をとって進めております。今後、また当然、事業始まれば、いつからとか、伝達してやっていくということで、特に説明会は必要ないと考えております。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○2番 木暮弘元 そうすると、容量についても、またきちんと説明をしてやったほうがよろしいかなと思っております。

次にいきます。

遮水シートの安全性、フレキシブルコンテナの安全性について、この耐用年数は何年ぐらいで、これについてはきちんとした実績等があるのか。

○議長 千野榮治 健康課長

○健康課長 神宮喜美 遮水シート、コンテナの安全性ということでございますけれども、さきのやはり全員協議会でも説明させていただきましたけれども、土壌を覆う遮水シートにつきましては、耐候性、防水性のあるものを使用し、土壌に入れるものについては、耐候性、防水性にすぐれているフレキシブルコンテナを使用するというところでございます。これらにつきましては、除染ガイドラインにも沿ったもので、福島県でも使用されております。安全性につきましては、国も認めているということでございますので、安全であると理解しておりますが。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○2番 木暮弘元 これは1つの袋を使用して何十年ぐらいもつかという今の質問をしていたんですけれども、それがありませんか。

○議長 千野榮治 健康課長

○健康課長 神宮喜美 特に何年というのは把握していませんけれども、それぞれが設置の方法によって、またその年数というのは変わってくるかと思えます。例えば直接日光が当たる場所ですとか、屋内ですとか、そこら辺、また年数も変わってくるかと思うので、ここで何年かというのはちょっと申し上げられないんですが。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○2番 木暮弘元 次にいきます。

雨天の除染作業と運搬作業についての考え方は、伺います。

○議長 千野榮治 健康課長

○健康課長 神宮喜美 雨天の除染作業と考え方ということでございますが、当然入札して業者さんが事業実施するわけですけれども、小雨程度ぐらいでは事業をやるかと思えます。運搬につきましては、今考えておりますのは、4トン車に1台ぐらいになったら仮置き場へ運ぶという考えでおります。その間につきましては、請け負った業者さんの屋根がついている作業場ですとかシートをかけていただき、安全に保管してもらって、ある程度の量がたまりましたら運んでいただくような考えでおります。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○2番 木暮弘元 今、ちょっと理解が、もうちょっと質問をしっかりとすればよかったなど思っているんですけれども、まず最初に業者が収集して、仮置きに持ち込む前の保管ですよね。それはどういうふうに保管して、それから仮置き場に持っていくという、その保管については、持ち込む前の保管です。

○議長 千野榮治 健康課長

○健康課長 神宮喜美 持ち込みの前の保管ということで、先ほども言いましたけれども、請け負った業者さんの倉庫なり作業場なり、雨が当たらない施設です、その中で保管していただくということで、フレキシブルコンテナにつきましても、密閉されますので、なおかつそれにシートを覆っていただき、管理していただくというような考えでおります。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○2番 木暮弘元 仮置き作業終了後の管理について、その予算、どのようにして考えていますか。

○議長 千野榮治 健康課長

○健康課長 神宮喜美 仮置き場の管理ということでございますけれども、ガイドラインに沿いまして管理していかなければならないわけでございますが、その後の予算と言いましたけれども、それらについては、国の補助で実施していくというような格好になろうかと思えます。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○2番 木暮弘元 そうしますと、終了後、管理をしながら、住民への説明と周知の方法は。

○議長 千野榮治 健康課長

○健康課長 神宮喜美 住民への説明と周知ということでございますが、仮置き場については、1週間に1度測定し、チェックをしていくということでございます。

吉崎区の住民の皆様には、説明会のときに吉崎区より公会堂前に掲示板を設けてくださいということで、それらにつきましては、環境省もよいでしょうということでございますので、吉崎区の掲示板を利用して、吉崎区に対しまして公表していくということでございます。また、町のホームページ等でも随時公表していきたいと考えております。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○2番 木暮弘元 仮置き場の周辺に知らない人が近づくということで、その部分についての表示等はきちんとやりますか。

○議長 千野榮治 健康課長

○健康課長 神宮喜美 仮置き場につきましても、当然ガイドラインに沿って表示を行い、またフェンス等も覆うようになっておりますので、そのようにやっていく予定でございます。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○2番 木暮弘元 次にいきます。

仮置きというのは、いつまで仮置きするのか、最終処分はいつごろなのか。

○議長 千野榮治 健康課長

○健康課長 神宮喜美 いつまでかと申しましたけれども、今、国が仮置き場の期間を定めておりません。したがって、いつまでかという未定でございます。今後の管理につきましては、万全を期してまいりたいと思います。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○2番 木暮弘元 次にいきます。

高濃度の廃棄物を他町村から持ち込み等はないんでしょうね。その確認を。

○議長 千野榮治 健康課長

○健康課長 神宮喜美 今回も放射性物質につきましては、他町村からの汚染土壌等の受け入れは禁止ということでなっておりますので、町で出たものを仮置き場へ集積するというので、他からの持ち込みはございません。

○議長 千野榮治 木暮弘元君

○2番 木暮弘元 今、健康課長に確認ができてよかったかなと思います。この事業を推進するために、住民が不信感を持たないように、またしっかりと理解ができるように説明責任を果たしながら、安心・安全な事業の実施をしていただきたいと切望いたします。

少し時間が余りましたけれども、本日の質問に対していただいた回答は、私の調査と異なる点が多々ありました。あえて再質問は確認をいたしませんでした。指摘もせず、ちょっと矛盾を感じながら質問を終わります。ありがとうございました。

○議長 千野榮治 自席に戻ってください。
以上で一般質問を終結いたします。

○議長 千野榮治 本日の日程は全部終了いたしました。
本日はこれにて散会いたします。
大変ご苦労さまでございました。

散 会 平成25年6月13日 午後 3時24分